

末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）の使用状況 に関する単施設後ろ向き研究

2019年4月から2023年3月までに、末梢挿入型中心静脈カテーテルを留置した患者さん

研究協力をお願い

当院では、末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）という点滴用のカテーテルを用いた治療が多く行われています。特殊な薬剤や、高カロリー栄養の点滴などに使用しますが、従来は首や鎖骨の付近、足の付け根などの太い静脈からカテーテルを入れていました。最近では、腕の静脈から入れられるPICCの適応も増えていますので、こちらの使用も増えています。

より安全な使用について検討を行うために「末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）の使用状況に関する単施設後ろ向き研究」を行います。この研究は、2019年4月1日から2023年3月31日までに市立旭川病院で、PICCを挿入して治療を受けた方を調査する研究で、目的や方法は以下の（1）～（5）の通りです。新しい検査をしたり、カテーテルを入れるといったことはありませんので、直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

（1）研究の概要について

研究課題名：末梢挿入型中心静脈カテーテル使用状況についての単施設後ろ向き研究

研究期間：2022年10月1日～2024年3月31日（対象の期間は2019年4月1日～2023年3月31日）

研究責任者：市立旭川病院 救急科 丹保 亜希仁

（2）研究の意義、目的について

末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）は、従来の中心静脈カテーテルと比較して死に至るような合併症が少ないとされていますが、感染症や血栓症などの合併症は起こります。カテーテルを入れる静脈、入れた長さ、合併症の頻度などについて調査することで、今後より安全に使用するための方策を検討することを目的としております。

（3）研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2019年4月1日から2023年3月31日までに市立旭川病院で末梢挿入型中心静脈カテーテル（PICC）を留置して治療を行った方を対象としています。

この研究は、患者さんの以下の情報を用いて行われます。

情報：年齢、性別、身長、体重、入院した診療科、PICCを留置した血管、留置した長さ、留置の方法、留置期間、合併症（カテーテル関連血流感染、血栓症など）、血液検査データ、画像検査

（4）個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第一号）の規定により個人情報の保護に努めます。

（5）研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表する予定です。

（6）問い合わせ等の連絡先

市立旭川病院 救急科 丹保 亜希仁

〒070-8610 旭川市金星町1丁目1-65

電話番号：0166-24-3181（代表） 内線：8032

メールアドレス：atampo@asahikawa-med.ac.jp